

京都大学人文科学研究所国際研究ミーティング実施報告書

1. 国際研究ミーティングの名称

近世朝鮮をめぐる東アジア国際秩序の形成と変容

2. 主催責任者氏名

矢木毅(京都大学人文科学研究所・教授)

3. 開催日時等およびプログラム(講演者名または報告者名を明記してください)

①日時:2022年5月11日(水) 18:00-19:40

場所:Zoom Meeting

演題等:夫馬進「1609年、日本の琉球併合以降における中国・朝鮮の対琉球外交—東アジア四国における冊封、通信そして杜絶」(『朝鮮燕行使と朝鮮通信使』(名古屋大学出版会、2015年)に関する論評

講演者または報告者:木村可奈子(滋賀県立大学・人間文化学部・講師)

②日時:2022年7月6日(水) 18:00-19:40

場所:Zoom Meeting

演題等:北島万次(編)『豊臣秀吉朝鮮侵略関係史料集成』(平凡社、2017年)に関する論評
講演者または報告者:川西裕也(新潟大学・大学院・現代社会文化研究科・助教)

③日時:2022年9月14日(水) 18:00-20:00

場所:Zoom Meeting

演題等:高橋公明「外交儀礼よりみた室町時代の日朝関係」(『史学雑誌』91-8、1982年8月)に関する論評

講演者または報告者:木村拓(鹿児島国際大学・国際文化学部・准教授)

4. 概要(400字程度)

学振外国人特別研究員(欧米短期)Ilsoo David CHO(趙一水)氏の来日を機に、朝鮮近世政治外交史の研究を担う中堅・若手の研究者による研究会を組織した。研究会では自身の研究に影響を与えた先行世代の代表的な研究論文をそれぞれ一編ずつ取り上げ、今日的視点から改めてその内容を紹介・検討するとともに、併せて自身の研究の展望をも語っていただいた。拠点の支援を受けた3回のほか、前後に3回、合計6回の会合を行い、参加者全員がそれぞれ一回ずつ報告を行った。

5. 参加者(別紙「参加状況」も記載してください。)

①学外

川西裕也(新潟大学)、木村可奈子(滋賀県立大学)、木村拓(鹿児島国際大学)、辻大和(横浜国立大学)

所内

矢木毅、CHO ILSOO(学振外国人特別研究員)

②学外

川西裕也(新潟大学)、木村可奈子(滋賀県立大学)、木村拓(鹿児島国際大学)、辻大和(横浜国立大学)

所内

矢木毅、CHO ILSOO(学振外国人特別研究員)

③学外

川西裕也(新潟大学)、木村可奈子(滋賀県立大学)、木村拓(鹿児島国際大学)、辻大和(横浜国立大学)

所内

矢木毅、CHO ILSOO(学振外国人特別研究員)

6.助成金の使途等

英文報告書のネイティブチェック経費に使用した。

7.その他(成果や今後の展開等、自由に記載してください)

単なる研究発表ではなく、自身の研究に影響を与えた先行世代の研究論文を紹介・検討することを通してそれぞれの研究者の研究の背景や今後の方向性についても知ることができた。また学振外国人特別研究員(欧米短期)Ilsoo David CHO(趙一水)氏との交流を通して、国内の中堅・若手の研究者と海外(特に欧米、韓国)の学界との交流の基礎を築くことができた。報告・討論の内容は英文報告書にまとめて欧文人文(Zinbun)に投稿する予定である。

参加状況

区分	機関数	参加人数					延べ人数				
		総計	海外研究者	40歳未満	35歳以下	大学院生	総計	海外研究者	40歳未満	35歳以下	大学院生
人文研所属 (内女性)	1	2 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (0)	0 (0)	3 (0)	0 (0)	0 (0)
学内(法人内) 人文研を除く (内女性)	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
国立大学 (内女性)	2	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
公立大学 (内女性)	1	1 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	3 (3)	0 (0)	3 (3)	0 (0)	0 (0)
私立大学 (内女性)	1	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
大学共同利用機関法人 (内女性)	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
独立行政法人等公的研究機関 (内女性)	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
民間機関 (内女性)	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
外国機関 (内女性)	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
その他 (内女性)	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
学外 計	4	4	0	1	0	0	12	0	3	0	0
計	6	6 (1)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	18 (3)	0 (0)	6 (3)	0 (0)	0 (0)
【その他の参加状況】											

※本務所属が海外の研究機関である研究者

※()内には、女性数を記載

※受入機関、受入人数、延べ人数を区分に応じて記入してください。

※外国人、若手研究者(40歳未満)、若手研究者(35歳以下)、大学院生の人数はそれぞれ受入人数、延べ人数に対しての内数を記入してください。

※受入人数、延べ人数については上段に総数を下段に()で女性の内数を記入してください。

※「学内」の所属機関数は「学部数」等を記入してください。

※【その他の参加状況】には「その他」区分に計上した、具体的な所属等を記載

※受入人数及び延べ人数の算出方法は、以下の例に基づき算出してください

国際研究ミーティングに参加者2人が3回参加した:受入人数2人、延べ人数6人